

高台移転の事前開発事業について

— 平串地区開発面積 60,000m²、52 区画計画（案）—

令和 5 年 8 月 17 日

ミライ企画株式会社社長 田村滋

1, 事前復興まちづくり計画の指針づくりについて

県は南海トラフ地震後の速やかな復興を目指し、各市町村が策定する「事前復興まちづくり計画」の指針づくりに着手している。県は復興を巡る課題や活用出来る事例、計画の策定着手などを盛り込んだ市町村向けの指針を作るための検討会を設置した。

2, 高台移転の事前開発事業計画の推進（案）について

高台移転の事前開発事業計画立案については、土地所有者の許可を得て、四万十町に移転先高台を事前に施工するという、事前復興計画における移転先高台の整備を目的としています。この事業の導入の推進を、弊社がお手伝いさせて頂いております。

3, 高台移転の事前開発事業について

事前復興計画は、定住促進及び景観を生かした公園整備による地域活性化を目指した高台整備を計画しており、広い空間の住宅地を目指しています。

この一連の事業を進めるにあたり低廉かつ良質な公共サービスの提供及びコスト削減を目指して、高台移転の事前開発事業」の導入を推進します。

4. 四万十町への活用した事業の説明について

四万十町、を窓口に、高台移転の事前開発事業の説明を行いました。

本年6月に、平串地区計画平面図（案）（開発面積 60,000m²、宅地用地①～④区画、52区画の団地、1区画約190坪の緑地公園1ヶ所、洪水調整池1ヶ所）が完成したため、森武士副町長に説明を行いました。町長と協議する時間が必要です。



（平串地区計画平面図・別紙一4）

5. まとめ

四万十町平串地区は、高知自動車道（四万十中央IC～高知IC）を使用することで、距離62km、所要時間約1時間で高知市内への通勤が可能で、豊かな自然に囲まれた快適な環境の地区で、定住につながる住宅団地を建設する最適な場所と言えます。

当該地区の、南海地震の津波の心配がない高台に景観の良い公園を備えた広い住宅団地を建設することで、若者の定住促進、高齢化率上昇の抑止、人口減少の克服、町の長期安定財政の確保と言った、町における課題解決につながることが期待できます。